

2015年2月26日
株式会社 FFRI
J B サービス株式会社
J B C Cホールディングス株式会社

FFRIとJ B サービスがセキュリティ対策サービスで協業 お客様対応の充実とセキュリティビジネスを拡大

株式会社 FFRI（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：鶴飼裕司、以下 FFRI）と J B C Cホールディングス株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役社長：山田隆司）の事業会社で J Bグループ^{※1}のマネジメントサービス事業を担う J B サービス株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：後藤浩、以下 J B S）は、サイバー攻撃対策ニーズの高まりに合わせ、J B Sの運用監視センター「SMAC」^{※2}で提供するセキュリティ対策サービスの強化を FFRI が支援することで 2015年2月26日に合意に至りましたのでお知らせいたします。

協業の背景

頻発するサイバー攻撃により、企業の情報システムはかつてない脅威にさらされており、高度化するサイバー攻撃はセキュリティ対策製品の導入だけでは対処できないレベルに達しています。こうした状況の中、FFRIでは、組織内 CSIRT^{※3}やプライベート SOC^{※4}の設置を検討する企業、MSS^{※5}事業者等を対象としたサイバーセキュリティの専門人材を育成するためのトレーニングコースや、インシデント対応を支援するツールの開発を進めてきました。

一方で、サイバーセキュリティ対策の重要性を認識しながらも、そうした対策は専門家に任せ、本業に注力したいというニーズも今まで以上に大きくなっています。企業情報システムの運用監視サービスで豊富な実績を有する J B Sでは、こうしたニーズに対応するため、SMACで提供する運用監視サービスに対し、セキュリティ対策サービスの強化を検討していました。

FFRIのサイバーセキュリティ対策技術やノウハウを J B Sの SMACで提供する運用監視サービスに取り入れることで、お客様のニーズに合致したサービスの提供が可能になると考え、協業に至りました。

協業の概要

J B Sでは、2015年4月、東京、大阪の SMACに SOC機能を追加し、従来のウイルス対策ソフトでは検知不能な未知のマルウェアの感染を検査する標的型攻撃マルウェア検査サービスをはじめとした SOC支援サービスをスタートするとともに、セキュリティ対策サービスメニューの拡充をすすめます。また、SMACでの運用支援メニューに、標的型攻撃対策ソフトウェア「FFR yarai」など FFRIのセキュリティ対策製品の導入・運用支援サービスを追加し、セキュリティ関連ビジネスの拡大を図ります。

セキュリティインシデント発生時には SMACと全国のサービス拠点が連携し、リモートだけでなくオンサイトでの対応も可能な体制を構築します。J B Sのインシデント対応人員がお客様の環境で発生したインシデントに対して迅速で的確な対応を実施するため、FFRIはインシデント対応に必要なスキルを身に付けるための専門

的なトレーニングを J B S に提供し、セキュリティ脅威に関するリスク分析やマルウェア解析等のノウハウを共有します。

この協業により、J B S は、協業に関連する売上を 2018 年度に累計 5 億円を目指します。

J B サービス株式会社 (J B S) について

J B グループのお客様や J B S 独自のお客様に対して最適な IT ソリューションの提案～設計～構築を提供すると共に、システムの安定稼働、コア・コンピタンス経営を支援するマネジメントサービス（運用/監視/セキュリティ/全国オンサイト支援）をトータルサービスとして提供しています。

株式会社 FFRI について

FFRI は 2007 年、日本において世界トップレベルのセキュリティリサーチチームを作り、IT 社会に貢献すべく設立されました。現在では日々進化しているサイバー攻撃技術を独自の視点で分析し、日本国内で対策技術の研究開発に取り組んでいます。研究内容は国際的なセキュリティカンファレンスで継続的に発表し、海外でも高い評価を受けていますが、これらの研究から得られた知見やノウハウを製品やサービスとしてお客様にご提供しています。主力製品となる、「FFR yarai」はミック経済研究所^{※6}によるエンドポイント型標的型攻撃対策分野における出荷金額において No.1 を獲得しています。

※1 J B C Cホールディングス株式会社及び事業会社の総称。（<http://www.jbcc.co.jp/corporate/group.html>）

※2 SMAC（Solution Management and Access Center）：お客様の IT インフラを 24 時間 365 日体制で支援する J B S の運用監視センター。SMAC から各種サービスを一元的に提供することで、複雑なシステム運用の負荷軽減や人材不足の解消、情報セキュリティの維持管理などの課題を解決しています。万一のトラブルが発生した場合には、SMAC と全国のサービス拠点が連携し、IT システムの障害回復支援や保守サービスを行う体制を取っています。

※3 CSIRT（Computer Security Incident Response Team）：コンピュータセキュリティにかかるインシデントに対処するための組織。

※4 SOC（Security Operation Center）：セキュリティ対策システムに特化した運用監視センター。

※5 MSS（Managed Security Service）：セキュリティ対策システムに特化した運用監視サービス。

※6 出典：ミック経済研究所「情報セキュリティソリューション市場の現状と将来展望 2014【外部攻撃防御型ソリューション編】」

「FFRI」、「FFR yarai」は、株式会社 FFRI の商標、または登録商標です。

その他すべての社名、製品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問合せ先

株式会社 FFRI
経営企画部 PR 担当
TEL：03-6277-1811
E-Mail:pr@ffri.jp
URL:<http://www.ffri.jp>

本件に関するお問合せ先

●報道関係の皆様
J B C Cホールディングス株式会社
広報 松尾/村松
TEL：03-5714-5177
E-Mail:jb_info@web.jbcc.co.jp

お客様
J B サービス株式会社
サービス営業事業部 I o T 推進 担当
TEL：03-6380-4818
E-Mail:jbs_info@jbsvc.co.jp